

# 2018(平成30)年度 事業計画

2018/03/23

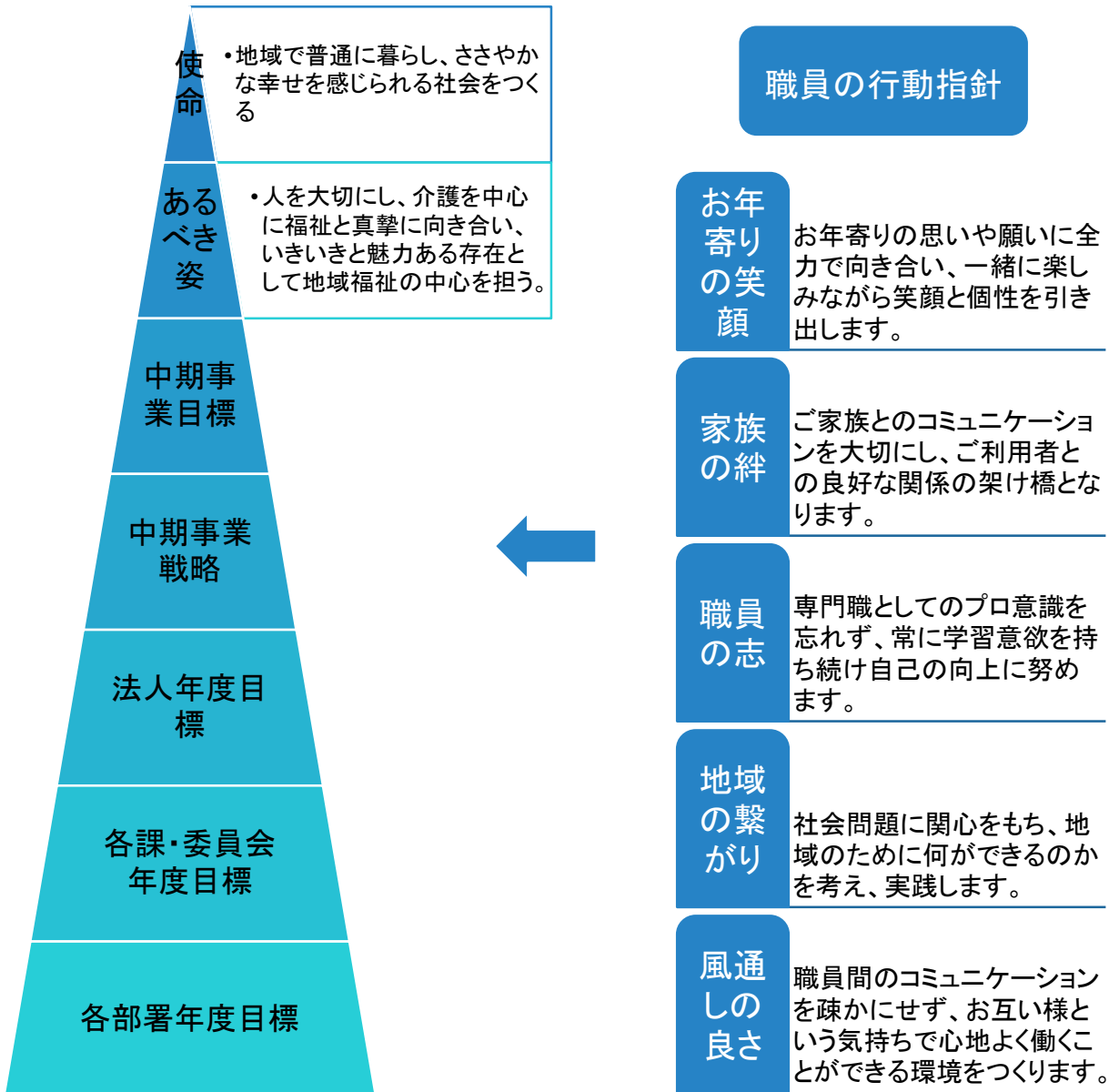
社会福祉法人 絢会

## もくじ

- ◆ 基本理念 ～ 目標体系
- ◆ 中期事業目標・中期事業戦略
- ◆ 生活支援の姿勢・在宅支援の姿勢
- ◆ 職員への思い
- ◆ 職員の心がけ
- ◆ 2018年度基本方針
- ◆ 組織図
- ◆ 数値指標

◆ 基本理念 ～ 目標体系

# 基本理念 【普通に暮らす幸せ】



- 使命/職員は何を大切に考えて仕事をするか
- あるべき姿/(2020(平成 32)年度末)にどのような組織であるべきか
- 中期事業目標/あるべき姿を達成するための具現化すべき目標
- 中期事業戦略/事業目標を達成するうえで重点としたいポイント

## ◆ 中期事業目標・中期事業戦略(2018年度～2020年度)

### I.介護を中心に福祉と真摯に向き合う

- I-1 質の高い基礎介護力の維持・向上
  - ①介護の質を評価する仕組みづくり
  - ②介護のやりがいを見つめなおす
  - ③目標を設定して実行するチーム
- I-2 地域福祉への貢献
  - ①地域行事やボランティアへの積極的な参加
  - ②地域ニーズの発掘とサービスの実践
  - ③ファンドレイジングの手法を用いた公益活動

### II.いきいきと魅力ある存在となる

- II-1 個性が活きる福祉人材の育成
  - ①次世代を担う福祉人材の採用
  - ②個別研修カリキュラムの実施
  - ③未来が描けるキャリアパスと人事制度
- II-2 優しい環境
  - ①ICTを活用した情報の共有と一元化
  - ②健康で働きやすい職場
  - ③活発なコミュニケーションで明るい職場
  - ④環境に配慮した職場

### III.財政基盤の安定化

- III-1 数値目標
  - ①当期資金収支差額（毎年:7百万円以上）
  - ②年度末預金（2020(平成32)年度末:9千万円以上）

## ◆ 生活支援の姿勢

お年寄りの方々に安心して生活していただけるよう努力します

- 馴染みの物、馴染みの関係を大切にします。
- お年寄りの身体の事を理解する努力をし、出来る事に目を向け心身ともにサポートします。
- 常にお年寄りの立場に立ち、探究心、向上心をもって継続してケアの質を高めます。

## ◆ 在宅支援の姿勢

在宅で暮らし続けるために、事業所の枠に収まらない複合的な支援をします

- 利用者様ひとりひとりと向き合い、潜在的な思いや能力を引き出し、チームとして同じ目標に向かいチャレンジしていき「気持ちを支えるケア」を実践します。
- 急な状況の変化にも迅速に対応ができ、生活状況に合わせて最善の方向へと一緒に考えることで、家族様の心の負担を少しでも軽く出来る「よりどころ」になります。
- 利用者様の心を前向きに動かし、「まだまだ出来る事」をサポートしながら心と体を元気にします。

## ◆ 職員への思い

職員も幸せになるべきです。人間的な成長は自身もご利用者も、そして周りの人も幸せにしていくと考えます。働きやすい職場で、やりがいをもって生き生きと働くことが自己実現につながり、人間的な成長を促すと信じ、人財育成に取り組みます。

### 自己実現を応援します

- 当法人で働くことがステップアップの場であって欲しいです。目の前のこと、些細なことでも疎かにせず、自分のあるべき姿を思い描き自己研鑽に励む職員を応援します。
- 迷い悩むことは当然のこと、一緒に悩み、考えられる仲間でありたいと思います。

### 働きやすい職場を創造します

- ワークライフバランスを大切にし、多様な働き方を受け入れられるような体制を整えます。
- 情報の滞りが人間関係に悪影響を及ぼしてしまうことがあります。情報の流れを整備し共有化を推進します。

### やりがいをもって生き生きと働くことを支援します

- 成功体験を積み重ねていくことが自信を生みます。目標設定と振り返りをしっかり行い、成果を確認することが、やりがいにつながります。
- やらされる仕事はつまらない。自分たちで問題を発見し、考え解決していく仕事のほうが楽しいはずです。
- 手段と目的を混同させない。「何のために」という目的を伝えること、見失わないことが大切です。
- 自らの個性を生かしながらもチームに貢献する職員を応援します。

## ◆ 職員の心がけ

### 気持ちの良い挨拶をすること

- 『関係性が円滑になります』
- 挨拶は、人と人とのコミュニケーションのはじまりです。気持ちの良い挨拶は、自分も相手も心地よい気持ちになり、その場の雰囲気も良くする事ができます。

### 素直であり続けること

- 『飛躍的に成長します』
- 謙虚に耳を傾け、学ぶ姿勢で相手の人に接します。先輩方や後輩、周りの人から信用と信頼を得られ、たくさんのことを学びとることが出来ます。

### 努力を惜しまないこと

- 『人間性を育みます』
- 創意工夫を重ね、一生懸命に与えられた仕事に打ち込むことです。何か壁にぶつかっても諦めず、努力を続けることで自分の足りないところが見つかります。

### 利他の心で判断すること

- 『正しい判断を促します』
- 「自分だけがよければ」という利己の心ではなく、「人によかれ」という利他の心で考えます。他の人の気持ちを汲みとれるようになり、広い視野と深い思考で考えられるようになります。

### 感謝を常に忘れないこと

- 『人生を豊かにします』
- 人は必ず誰かと関わって生きています。今を当たり前と思わず、お蔭様という気持ちで感謝を示すことが、周りの人と自分の幸福感となります。

## ◆ 2018年度 基本方針

### 1. お年寄りを中心に考えるケア

#### (ア) ICT を活用したケア目標の設定

ケアプランを中心にケアの実態、ケアポイントを連携、連動させたシステムを作ります。アプリを活用することで情報の共有と一元化を図り、ケアの目標設定と実行、振り返りを行います。

#### (イ) ガイドライン、マニュアルの整備

これまで作成してきたマニュアル等を整備し、再構築します。ガイドラインやマニュアルの作成に職員一人一人が関わることで現状に則した生きたものを目指し、仕事の標準化を図ります。

### 2. 社会貢献を考え地域と向き合う

#### (ア) 地域との接点づくり

現在実施している制度外サービスを継続しながらニーズに合わせて柔軟に対応していきます。イベント等を企画し地域との接点を積極的にもうけ、地域をケアするサービスを考えます。

#### (イ) 応援者との関係づくり

ファンドレイジング担当職員を配置し社会貢献活動を計画的、戦略的に活動します。まずは、自分たちの活動の振り返りと整理を行い、ボランティアや活動を応援してくれる方との継続的な関係作りを目指します。

### 3. 一人一人を見つめた人財育成

#### (ア) 戦略的な採用活動

採用チームを結成し、法人にマッチした人財の獲得を目指します。法人の魅力を分かりやすく伝えるパンフレット等を作成し、戦略的な採用活動を行います。

#### (イ) 面談の質の向上

「お互いを知る」面談から「お互いを高めあう」面談を目指します。内容の確認、フィードバックの精度を上げ、より質の高い面談を実施します。



(ウ) 職種、職位ごとの研修カリキュラム作成

職種、職位ごとの研修カリキュラムを作成します。職員が自らのキャリアを意識してスキルアップできる環境を整えます。

4. コミュニケーションと効率化

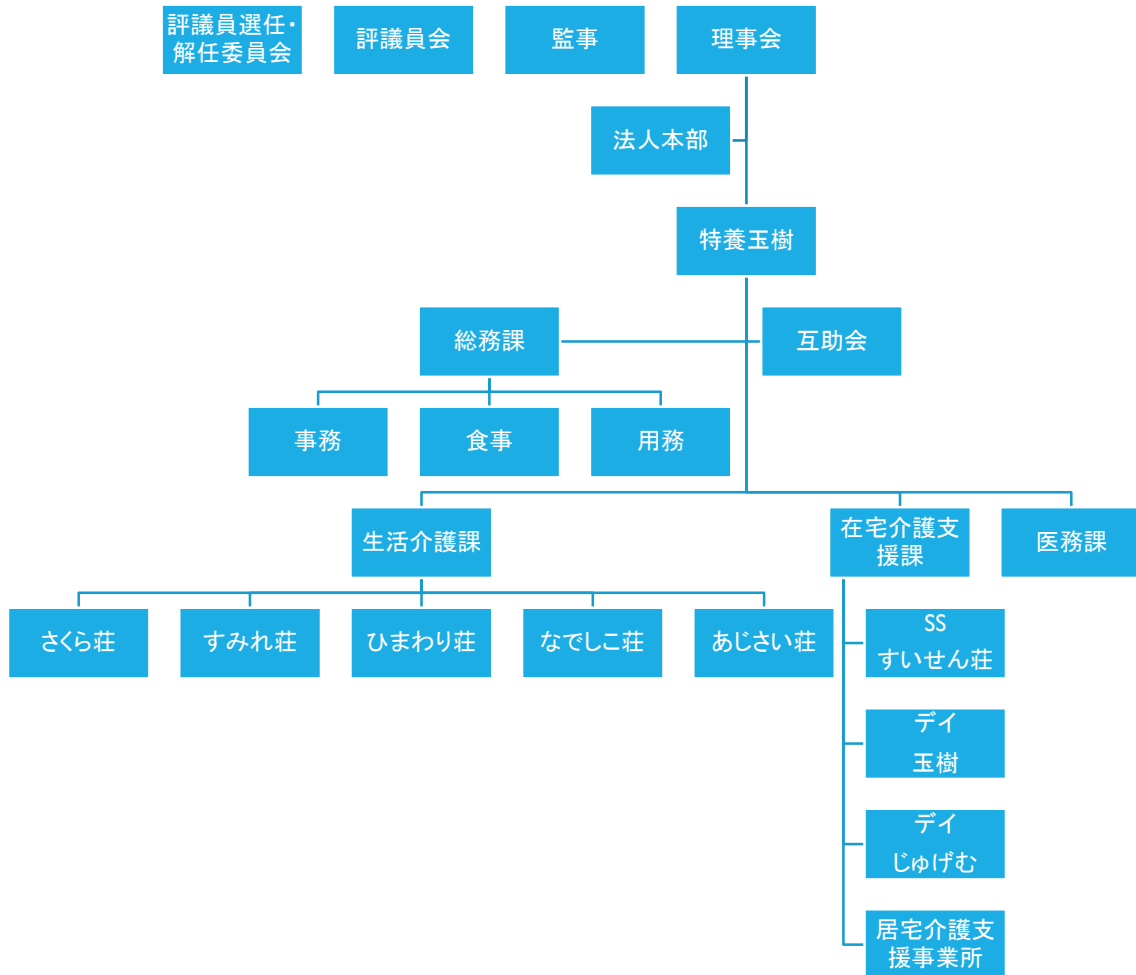
(ア) ペーパーレス化と整理整頓

無駄な紙を極力少なくし、事務スペースの整理整頓を行うことで、情報の共有化と業務の効率化を図ります。全員参加型の改善活動による仕組み作りを目指します。

(イ) 通信環境整備

社内の通信環境の整備を行います。電話設備の入れ替えやインカムの導入によるスムーズなコミュニケーションと連携により業務の効率化を図ります

◆ 組織図



◆ 数値指標

	特養	ショート	デイ玉樹	デイ じゅげむ	居宅介護 支援事業 所
利用者定員	50	10	25	10	-
稼働日数	365	365	309	313	-
稼働率	98.00	99.00	73.00	90.00	-
一日平均利用者数	49.00	9.90	18.25	9.00	-
利用者延べ数	17,885	3,613.5	5639.25	2,817	-
単価(1人1日当たり)	13,767	13,909	10,247	11,981	-
総収入(千円)	<b>246,225</b>	<b>50,260</b>	<b>59,560</b>	<b>33,750</b>	<b>19,320</b>